

特集

一度は行きたい！川崎の社会見学施設

※個人で申し込んで行けると「ツアー」や団体でないと入れないところがあります。事前にご確認ください。★印はツアー以外でも見学できますが事前申込が必要です。

川崎の産業観光を支援する会では、2012（平成24）年2月から、市内にある施設や会社の協力を得て、市民が少人数で体験を含めて学ぶことのできる「体験型ミニツアー」を実施しています。

都市化により、道路の整備や護岸工事もすすみ、アスファルトやコンクリートで覆われ、雨水は、地面に吸い込まれず下水管からあふれ出したり川が氾濫したりして家屋に浸水する被害が川崎でも出ています。対策として、配水池や貯留管（地下ダム）を整備しています。


モノづくりのまち川崎には、多くのオリジナルの製品を作る会社が多数あります。

今号では産業観光を支援する会の協力を得て、「一度は行きたい！川崎の社会見学施設」として6つを紹介します。

■恩廻(おんまわし)公園調節池 ★


大規模な水害対策の施設として、鶴見川（全長42.5km）の上流30数km付近に恩廻公園調節池があります。下流域に都市を抱えている鶴見川は、日産スタジアム一円が洪水の調節施設になっています。この恩廻でも一時的に貯えながら鶴見川の水高（かさ）を調節していく役目をしています。

池といっても実際は、直径15.4～16.5m、深さ42m、長さ600mのトンネル貯留管です。満杯（約110,000m³）になると海面より低いここでは5気圧もの高水圧になるのでトンネルの出入口の扉は潜水艦と同じハッチになっています。




■ミットヨ ★

(株)ミットヨには、ミットヨ博物館が内设されていて世界の精密測定器の実物や会社の沿革を知ることができます。博物館には、「第1号マイクロメータ」「大形外側マイクロメータ」「外国製の測定器」等を保管・展示しています。髪の毛やノートの厚みも測定することができます。地域活性化への貢献が期待される経済産業省の近代化遺産に認定されています。先人の英知と努力が現在に引き継がれ、より高度な精密測定機器がつくられています。



■渋川ポンプ場 ツアーのみ


渋川と矢上川が合流するところにあります。大雨対策としての地下ダムの役割や取水や送水等の仕組みについて地下機械施設の見学をしながら学ぶことができます。



■入江崎水処理センター ツアーのみ

汚水の導水管をたどって道路下を地下で横断すると、最初の沈殿池から、反応タンク、最後の沈殿層の順に汚水が変化していく様子を見学することができます。

入江崎の特長は、東京湾に放水するために特に赤潮の原因となる窒素、リンを除去する高度な処理をしています。小さな固定化担体（特殊なポリマー）を入れてかき回し、泡の層から澄んだ水に変わっていく様子も見ることができます。




※川崎港クルージングやかわさき工場夜景めぐり等もおおすすめです。



【資料提供：川崎の産業観光を支援する会】 ツアーについては、こちらの会のホームページも参照ください。 [川崎の産業観光を支援する会](#) 検索